慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	理工学Information
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学理工学部
Publication year	
Jtitle	新版 窮理図解 No.29 (2019. 1)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000029-0009

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

どうでもいい話

山本 直樹

2018 年は報告書作成や事務打ち合わせといった非研究系の仕事がかなり増えた。これはイカン研究時間確保せねばと思っており、それと矛盾するようだが気分転換にゲームを買った。

テニスをしたいんだが、同年代のテニス仲間も同様に何やら忙しく、時間が合わない。それで、息子が PS Vita というポータブルゲーム機をもっていて、そういえばと思ってツタヤに行ったら昔やりたいと思っていた FF10（※）があったのでつい買ってしまった次第。

昔というのは実際かなり昔で、このゲームは 20 年くらい前に発売されている。何を隠そう僕は FF1 から FF9 までプレイした筋金入りで、しかし 10 の発売時期が博士課程とかぶっており当時は自制したのである。今でも自制せえとある筋からは言われそうだが、ともあれ今回 4 ヶ月くらいかけてこれをクリアしたのだが、めちゃ面白かった。

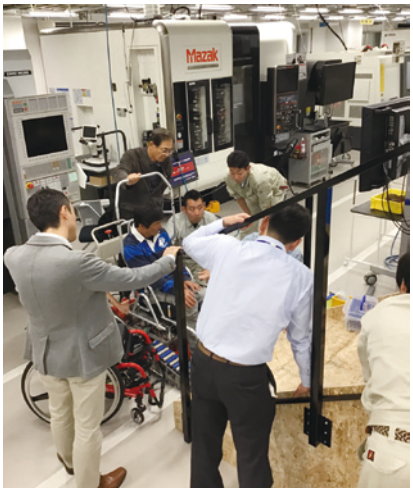
トータル 60 時間くらいかかっているので、ひと作品に費やす時間という意味で映画とかコミックと比べると対費用効果が悪い気もするが、消費時間に比例して感動度は上がるもので、満足度は高かった。とくにあるイベント後に訪れるナギ平原という場所で流れる曲が最高で、最近はそれをリピート再生で聴きながら仕事をしている。実際 youtube でこの曲を 30 分リピートし続けるという動画があがっており、同士がいるじゃないかと気分が良くなる。聴くのは多分おっさん達だろう。

あとだだっぴろい平原を歩くのは気分が良くなるに違いなく、実際昔やっていたんだが、本郷から九段下まで週 1 回歩いている。もっぱら研究のことを考えながら 40 分くらい歩くんだが、いいアイデアが思いつきそうで気分が良い。そういえば僕の研究室の学生から神保町にボンディという美味いカレー屋があると聞いていて、なので途中寄って食ってみたら確かにうまいんだが、せまいテーブルで目の前おっさんと相席というのがポイント減であった。

ということでどうでもいい話をつらつら書きました。執筆時間 10 分程度と高効率でした。駄文を読んで頂いた方々たいへん失礼しました。

（※）FF10：ファイナルファンタジー 10

理 工 学 Information



サイバスロン電動車いすプロジェクトが始動しました

2020 年、慶應義塾大学理工学部では、最新技術の実生活への応用を目的として、障がい者と技術の融合をめざす国際的な競技大会であるサイバスロンに参加します。

サイバスロンとは、ロボット工学等の最先端技術を障がい者が利用する機器に応用し、障がい者と技術の融合を競技形式で競い合う国際大会です。サイバスロンの競技は全 6 種あり、慶應義塾大学理工学部では、電動車いすレース（Powered Wheelchair Race）に挑戦します。電動車いすレースは、日常生活において車いすの移動に困難を伴うと想定される、テーブルにつく、スラローム、上り坂+ドア開閉+下り坂、凸凹道、傾いた道、階段昇降という6つの障害物に対し、走破した障害物と要した時間を競うレースです。

そこで、まず 2019 年に行われるサイバスロン車いすシリーズ日本大会をめざし、電動車いすの研究・開発を開始しました。本プロジェクトでは最新技術を応用して、バリアフリーに頼らない世界の実現をめざします。

KEIO FORTISSISSIMO
keio-fff
CYBATHLON PROJECT

編集後記

山本准教授の研究は、ロボットのように目に見える形のモノを作ったり、実験装置を使った研究をしているわけではないため、どのような表紙にするか悩みながらの撮影となりました。当日は、モデルのようにいろいろなパターンの写真を撮影しており、表紙に採用された 1 枚しかお見せできないのが残念です。Quantum（量子）の “Q” をモチーフにした表紙になりましたが、いつも笑顔で接してくれる山本准教授の雰囲気を感じ取っていただけるものができたのではないかと思います。（萩原いずみ）

新版 窮理図解
No.29 2019 January

編集 新版窮理図解編集委員会
写真 邑口京一郎
デザイン 八十島博明、石川幸彦（GRID）
編集協力 サイテック・コミュニケーションズ
発行者 伊藤公平
発行 慶應義塾大学理工学部
〒 223-8522 横浜市港北区日吉 3-14-1
問い合わせ先（新版窮理図解全般）
kyurizukai@info.keio.ac.jp
問い合わせ先（産学連携）
kll-liaison@adst.keio.ac.jp
web 版
https://www.st.keio.ac.jp/education/kyurizukai/
facebook
https://www.facebook.com/keiokyuri